

急なおなかの痛みと言っても・・・

名古屋掖済会病院 副院長・救命救急センター長

きたがわ よしみ
北川 喜己

救命救急センターにかかる患者さんの訴えは千差万別ですが、その中でも腹痛は代表格でポピュラーな症状のひとつです。しかし、たかが「おなかイタ」といってもその原因はさまざまで、なかには生命にかかわるものもあり、甘く見てはいけません。

「急なおなかの痛みには」

腹痛の原因となる病気には、多種多様なものがありますが、覚えやすい大まかな分け方としては、

A)腹部に原因があるもの

①消化器の病気、②血管の病気、③婦人科の病気、④泌尿器科の病気

B)腹部に原因がないもの

というのが一番わかりやすいのではと思います。

まずはそれぞれの分類のなかで、緊急で手術になった実例を挙げてみましょう。

「実際の例を挙げると」

A①の例) 以前に手術を受けたことのある中年男性

1 2 年前、胃潰瘍で胃の切除術を受け、その後しばしば腹痛があり入院も十数回、いずれも軽い腸閉塞と言われ 1 週間程度の点滴で軽快退院している。近医でも時々点滴や痛み止めの注射を受けている。今回も腹痛があり、近医でいつもの点滴と痛み止めを打ってもらったが、あまり効かなかったので救急外来にやってきた。

＜またいつもの腸閉塞！？でもいつも効果のある鎮痛剤が効かないときは要注意です。絞扼（こうやく）といって腸が捻れたり締め付けられたりしている可能性を考えなければいけません。CT 検査で確定診断がつき緊急手術になりました。＞

A②の例) 普段は元気な高齢女性

老人保健施設に入所中で、血圧は高いものの普段は元気に散歩などを行っている。今朝、施設の職員が見回りをしたところ、顔色が悪く腹痛を訴え自分で起きてこられない。全身汗まみれでお腹が張っているため、施設の車で救急外来を受診した。

＜高齢で高血圧、糖尿病、心房細動などの病気があれば、お腹の太い動脈にできた瘤（こぶ）が破裂したり、動脈がつまったりする病気を考え

ます。この方の場合も慌てて撮った CT 検査で腹部大動脈瘤の破裂があり、出血性のショック状態でした。>

A③の例) まじめそうな高校生の女の子

今朝からおなかが痛く吐き気があるとのことで、盲腸ではないかと母親が心配し、一緒に救急外来を受診した。話をきくと痛みは下腹部で右側に強い。

<若者で右下腹部の痛みとくれば、当然盲腸（急性虫垂炎）をまず考えますが、でもその前に。「女性を見たらまず妊娠を疑え」が昔からの鉄則です。実は尿検査で妊娠反応を調べてみるとなんと陽性！子宮外妊娠で緊急手術となりました。>

A④の例) おとなしそうな中学生の男の子

普段からおとなしく、我慢強い子とのこと。夜中から突然左下腹部の痛みが出現し、近医を受診。精査目的で救急外来に紹介となった。診察室では女医さんやナースに話しを聞かれ、赤面してもじもじしている。

<実はこの男の子。「玉が痛い！」の一言が言えずにもじもじしていたのです。パンツを下げて、睾丸を診てみると腫れて痛みがあり、睾丸捻転と言って玉が急に捻れたことがわかり、緊急の手術で捻れを戻してもらいました。>

Bの例) 働き盛りの中年男性

仕事中、急に胃が痛くなったとのことで救急外来にやってきた。吐き気もあり、冷汗をかいている。結構仕事がきつくて生活にもストレスが多いとのこと。救急の受付けで胃を痛そうに手で抑えながら手続きをしている。

<胃痛、吐き気、そしてストレスとくれば、胃もしくは十二指腸の潰瘍と思いがちですが、でも上腹部の痛みは腹部と胸部の両方の病気の可能性があります。特に心臓の病気は見逃すと致命的。この方も心電図をとってみると立派な急性心筋梗塞で、カテーテルによる緊急手術となりました。>

「おなかの痛みを起こす病気はさまざま」

いくつかの大変な実例を挙げましたが、これ以外にも、A①消化器の病気としては、通常の胃腸炎や消化不良以外にも、急性虫垂炎、急性膵炎や胆嚢炎、胃や腸の壁に穴があく消化管穿孔などがあり、腹痛の原因としては多くを占めます。A②血管の病気としては、腹部大動脈瘤の破裂のほか、血管の壁が裂ける大動脈解離や腸間膜動脈の閉塞症などがあります。またA③婦人科の病気では、卵巣嚢腫（できもの）の捻転、卵巣出血、骨盤

腹膜炎など、A④泌尿器科の病気では尿路結石や腎盂腎炎などが挙げられます。

また、B) 腹部に原因がないものの中では、急性心筋梗塞が代表格ですが、その他に胸や心臓のまわりに水がたまる胸膜炎や心嚢炎などの胸の病気や帯状疱疹（ヘルペス）、さらにはヒステリーなどの精神科の病気も腹痛の原因となります。

「急なおなかの痛みで病院にかかったら」

このように、様々な原因でお腹の痛みが起こるため、腹痛で病院にかかったときには、痛みの場所、どんな感じの痛みか、何をしていたか、痛くなったか、又はいつも何をすると痛くなるか、他にどんな症状があるか、これまでの病気（お腹のことはもちろんお腹以外のことも。女性の場合は生理の調子や妊娠の可能性も。）や痛みの経過などを充分かつ正直に話すことが大切です。そして腹痛の場合、痛みの場所やおなかを押さえた所見によって考えるべき病気や重症度、緊急度がある程度しぼられてくるため、最終的にはきちんとおなかの診察を受けることが急なおなかの痛みを解決する早道です。その意味では、救命救急センターに駆け込むのももちろん良いのですが、普段から自分の持病についてよくわかってもらっているか

かりつけのお医者さんを決めておいて、いざというときに素早く判断して
もらうのもより得策ではと思います。

名古屋掖済会病院

住所 愛知県名古屋市中川区松年町4-66

TEL 052-652-7711

FAX 052-652-7783

URL <http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp/>